

令和元年度第2回中仙地域協議会会議録

令和元年 7月 9日

中仙地域協議会

令和元年度第2回中仙地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	3
■協議・報告	3
(1) 中仙地域における学校統合の市の方針について	3
(2) 令和元年度地域枠予算執行予定事業について	4
■その他	6
(1) 支所各課所管の事務事業等について	6
(2) 第2期大仙市移住・定住促進アクションプランに係る意見等について	7
(3) その他	9
■閉会	9
■署名	9

■日 時：令和元年7月9日（火曜日）午後2時

■会 場：中仙支所2階 第21会議室

■出席委員：14名

秋山吉雄、伊藤 悟、熊谷 壽男、熊谷 亮、佐々木登代子
高橋 強、高橋 朝夫、高橋 トモ子、佐々木 堅一、田口 馨
玉井 勝壽、富岡 喜榮、三浦 和則、小松 京子

■欠席委員：3名

伝農 百合子、遠藤 まき、高橋 泉

■出席職員：9名

今 和則（中仙支所長兼地域活性化推進室長）	藤澤 真智子（市民サービス課長）
大阪 文博（農林建設課長）	高橋 千秋（中仙公民館長）
藤原 喜文（農林建設課参事）	田口 広龍（教育指導部教育総務課長）
進藤 哲規（地域活性化推進室副主幹）	長谷川祐城（地域活性化推進室主席主査）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名委員の指名
- 5 協議・報告
 - (1) 中仙地域における学校統合の市の方針について
 - (2) 令和元年度地域枠予算執行予定事業について
- 6 その他
 - (1) 支所各課所管の事務事業等について
 - (2) 第2期大仙市移住・定住促進アクションプランに係る意見等について
 - (3) その他
- 7 閉 会

(午後 2 時 0 分 開会)

○事務局（地域活性化推進室） 開会を宣言

○玉井勝壽中仙地域協議会長（以下「会長」と表記）

お忙しい中ご苦勞様です。今回は中仙地域の学校統合について市教育委員会より説明が
ございます。以前よりみなさんからご意見をいただいていた案件でございます。委員のみ
なさまには忙しい時期ではございますが、健康には充分ご留意いただきまして、地域協議
会を盛り上げていただければと思います。本日はよろしく願いいたします。

○今支所長（以下「支所長」と表記）

本日は、お忙しい中、「第 2 回中仙地域協議会」にご出席をいただきまして、誠にありが
とうございます。

委員の皆様には、日ごろより当市の地域政策の推進に関し特段のご理解をいただきまし
て厚く御礼申し上げます。会議に先立ちまして中仙地域の動向につきましてご報告させ
ていただきます。

7 月 7 日、日曜日でしたけれども、東京のグランドプリンスホテル新高輪におきまして、
ドンパンふるさと中仙会の令和元年度総会を開催しております。首都圏在住の出身者、地
元市議会議員など 8 4 名のご参加をいただきまして、盛大に開催されております。物産中
仙、J A 営農センターが地元の特産物やお酒などを持参しまして販売し、たくさんご購入
いただいております。このふるさと会につきましては、このような交流だけにとどまらず、
関係人口の増加も期待されておりますので、今後とも連携した取り組みを行っていきたく
と考えております。

また、6 月 2 3 日、日曜日ですけれども、中仙支団、仙北支団、太田支団合同の消防訓
練大会が中仙支所前のドンパン広場で開催されております。天候にも恵まれまして、日頃
の訓練の成果を発揮していただいております。小型ポンプ走法の部では、中仙支団第 3 分
団が 2 位に入賞しております。規律訓練の部では、中仙支団第 3 第 4 第 5 分団の連合チ
ームが見事優勝しております。大会の上位 3 チームは、7 月 1 3 日の大仙仙北美郷の消防訓
練大会に東部地区代表として出場しますので、みなさまからのご声援をお願いいたします。

また、各地区の運動会が 6 月 2 日から 1 6 日にかけて開催されております。詳細に
つきましてはこのあと公民館長よりご報告させていただきますが、地域の魅力再発見事業
として行っておりますコミュニティポイント制度の対象となっております。今後も地域
で行われるイベントを対象といたしまして、地域のみなさんから足を運んでもらうきっか
けをつくることで、地域のにぎわいを後押しする事業として実施してまいります。

そして中学校の郡総体についてですが、各中学校とも好成績をおさめております。野球、
バレーボール、柔道は全県大会へ出場を決めております。特に野球では、人数の少ない豊
成中学校が生保内中学校との合同チームとして見事優勝をはたしております。全県大会で
の活躍を期待しております。みなさまからも応援よろしく願いいたします。

さて、本日予定されております案件ですが、地域枠予算について審議いただく前に、教育指導部教育総務課の田口課長より中仙地域の小中学校の統合方針についてご報告いただくこととなっております。また、その他の案件としまして支所各課の事務事業報告と、企画部まちづくり課の実施する移住・定住に関する調査について説明させていただきます。

結びになりますが、中仙地域の活性化と地域振興をより一層推進していくために、みなさまより忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます、あいさつとさせていただきます。

本日は、どうぞよろしくお願いたします。

○会長 それでは次第6の「会議録署名委員の指名」をいたします。中仙地域協議会運営規定第7条第2項により、議長が指名することとなっております。

今回は熊谷亮委員、田口馨委員をお願いいたします。

次に、次第5「協議報告」になります。はじめに「(1)中仙地域における学校統合の市の方針について」教育委員会より説明よろしくお願いたします。

○田口広龍教育指導部教育総務課長（以下「教育総務課長」と表記）

資料に基づき説明。

○会長 ただいま担当課長より説明がありました。委員の皆さんの質問をお受けします。何かございませんか。

○高橋朝夫委員 スクールバスの対象となる、中学校では6キロ以上、小学校で4キロ以上というのは、中仙ではどのへんになるのでしょうか。

○教育総務課長 スクールバスの範囲についてはまだ決定していませんが、基本的には小学校2路線、中学校2路線となるのではないかと思います。ただ、厳密に4キロ6キロ以上とするのではなく実態に合わせて柔軟に対応していきたいと思っております。

○高橋朝夫委員 4キロ6キロはあくまで目安ということですね。ありがとうございます。

○佐々木堅一委員 4キロ6キロの取り扱いについては、夏も冬も同様でしょうか。夏は自転車通学になったり、冬には範囲が緩和されたりするのでしょうか。

○教育総務課長 ご指摘の点も含めまして、今後話し合っていきたいと考えております。

○高橋トモ子委員 説明会での意見に、部活に対応したバスをというものがありましたが、

はたしてそこまで必要でしょうか。どこの学校でも部活やスポ少にはいった場合は親が送迎していると思います。

○**教育総務課長** こちらの意見要望につきましても、今後、話し合っ決めていく予定です。

○**田口馨委員** 資料にあります、将来的には1校に統合する、と言うのは、中仙地域の小学校をすべて1校に統合するという意味なのか、または中仙小学校と清水小学校を1校に統合するという意味なのでしょうか。

○**教育総務課長** 中仙地域の4小学校を将来的には1校に統合することを目指すという意味です。

○**佐々木堅一委員** この統合に伴い、学童保育はどうなるのでしょうか。

○**藤澤市民サービス課長（以下「市民サービス課長」と表記）**

学童保育については、統合が正式に決まってから人数や場所、送迎方法を含めて決めていきたいと思います。

○**会長** ほかにございませんか。

（なし）

なければ、以上で「(1) 中仙地域における学校統合の市の方針について」を終わります。

次に「(2) 令和元年度地域枠予算執行予定事業について」を議題とします。それでは資料に基づきまして、担当課長より説明をお願いします。

○**事務局（地域活性化推進室）**

高橋中仙公民館長

資料に基づき説明。

□**実施類型** 市民協働型

1. 児童書道作品表装体験教室開催事業

申請団体 中仙表装倶楽部（中仙公民館）

事業目的 中仙地域小学校6年生を対象に、児童の手で作成した書道作品を表装の一種類の裏打ち表装をして記念に長く保存する。また、このことで書道や水墨画への愛着と理解を深めることを目的として開催する。

事業概要 中仙地域内4小学校6年生の児童を対象に、中仙表装倶楽部員ならびに協力員10名程で、それぞれの小学校に出向き指導をして、児童自ら

の表装作品を作成する。

※各小学校の6年生の児童数

中仙小38名、清水小15名、豊川小13名、豊岡小11名、計77名

【活動計画】

7月 各小学校に趣旨説明

8月 事前研修会を行い、下地の最終仕上げ作業まで行う。

9～10月 各小学校に出向き表装教室を開催する。

事業費 426,700円（消耗品費）

2. 令和元年度なかせん芸術文化祭開催事業

申請団体 なかせん芸術文化祭運営委員会（中仙公民館）

事業目的 中仙地域の芸術文化活動の発表と観賞の機会を提供することにより、芸術文化活動に対する関心と参加意欲を高め、交流を継続するとともに次世代へつなぐ芸術文化の振興発展を目的とする。

事業概要

1 実施日 令和元年11月2日（土）～3日（日）

午前9時～午後5時

2 場所 中仙市民会館ドンパル

3 内容 ・大仙市出前民謡

・大仙市芸術文化協会中仙支部芸術文化賞授賞式

・芸文協中仙支部加盟団体の芸能発表並びに豊岡小学校
伝統芸能（ささら）、中仙地域保育園による踊り披露、
ドンパン娘と中仙民謡研究会によるステージ発表

・中仙地域芸術文化協会、中仙地域保育園、小・中学校
生徒による芸術作品展示

事業費 145,668円（報償費、印刷製本費等）

□実施類型 市民主導型

1. ドンパン祭りPRイベント開催事業費補助金

申請団体 ドンパン祭り実行委員会

事業目的 中仙地域を代表するお祭りであるドンパン祭り。近年、踊り子ドンパン娘による普及PR活動によって、市外県外にも知られるようになり、お祭りへの参加者も増加している。

この機にドンパン祭りの魅力をより広め、発信できるPR事業を開催し、お祭りの盛り上がりとし、市内外への周知PRを行いたい。

事業概要 ドンパン祭りPRイベントの開催

(1) ドンパン娘フォトコンテスト

ドンパン娘の舞姿を中心に、ドンパン祭り当日の写真を募集。

・開催期間 8月16日～30日

(2) ドンパン祭りオフィシャルブース

お祭り当日に、ドンパン娘による祭りPRブースを運営・

・会場 ドンパン広場付近

(3) ドンパン祭り写真展

ドンパン祭りのようすを収めた写真展を開催。

・開催期間 10月上旬から2週間程度

・会場 道の駅なかせん

申請額 300,000円(報償費、消耗品費など)

○会長 ただいま「(2)令和元年度地域枠予算執行予定事業について」説明がありました。委員の皆さんの質問をお受けしたいと思います。

(なし)

ないようですので、事業の承認をいただきたいと思います。

それでは1件目の「児童書道作品表装体験教室開催事業」について、承認してよろしいでしょうか。

(異議なし)

ご承認いただきました。

それでは次に「令和元年度なかせん芸術文化祭開催事業」について、承認してよろしいでしょうか。

(異議なし)

ご承認いただきました。

それでは次に「ドンパン祭りPRイベント開催事業費補助金」について、承認してよろしいでしょうか。

(異議なし)

ご承認いただきました。

これで、今回提案された事業につきましては、全てご承認いただきました。以上で「(2)令和元年度地域枠予算執行予定事業について」の審議を終わります。

次に次第6「その他」に移ります。

はじめに「(1)支所各課所管の事務事業等について」各課長より報告をお願いします

○支所長

市民サービス課長

大阪農林建設課長（以下「農林建設課長」と表記）

中仙公民館長

資料にもとづき説明。

○会長 ありがとうございます。ただいま各課長より事務事業等の説明がありましたが、委員の皆さんからご質問などありましたらお願いします。

○小松京子委員 農林建設課の公園維持管理費について、私は清水に住んでいるのですが、近くの八坂神社の公園の清掃管理を集落で班編成を組んで毎週行っています。そこには紫陽花が咲いているのですが、あまり見栄えの良くない状態です。もっと良くしたいとは思いますが、集落の力だけではなかなか難しい現状です。なんとかならないものでしょうか。

○農林建設課長 地域の公園については、地域の集落にお願いしている現状です。小額ではありますが管理費もお支払いしておりますので、なんとかその中でお願いしたいと思います。

○小松京子委員 実際に管理している方々を見ますと、私よりも年上の方々ばかりですし、公園のトイレは水が出ず清掃ができない状態です。集落の力だけでは難しい点もありますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

○会長 ほかにございませぬか。
農林建設課の八乙女関連の事業について少し説明いただけるでしょうか。

○農林建設課長 八乙女山落石防止工事につきましては、八乙女公園裏側の川沿いの遊歩道について、その斜面にだいた大きな石がでており危険なことからパワーネットを使用し、落石を防止するというものです。公園維持管理費については、八乙女公園をはじめとして管内15箇所の公園の維持管理を行うものとなります。

○会長 ほかにございませぬか。
(なし)
ないようですので、「(1) 支所各課所管の事務事業等について」を終わります。

次に「(2) 第2期大仙市移住・定住促進アクションプランに係る意見等について」、事務局より説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室）

資料にもとづき説明。

○会長 ありがとうございます。みなさんからご質問などございましたらお願いします。

○田口馨委員 資料を見ただけでは難しくてちょっと大変なのですが、この移住と定住というものは、なにを移住、なにを定住をいうものなののでしょうか。

○事務局（地域活性化推進室） 移住定住という言葉では、外から移り住むことを移住、そしてそこに長く住むことで定住となりますが、この施策としては、定住に現在住んでいる住民が外にでていかないことも含まれていると思います。

○高橋強委員 この移住・定住に関しては、この大仙市に来たい、住みたいという根拠が薄いのだと思います。やはりしっかり予算措置をして支援策をつくり、それをPRして魅力をアピールしなければいけないのではないのでしょうか。今後、市ではこのような形で進めていきたい、これが魅力で、これが特典なんだというものを見せてもらった上でのほうが意見はでるのではないのでしょうか。

○熊谷壽男委員 確かに特典は大事ですが、ただ予算をかけて物を与えるだけではダメだと思います。もっといろんな角度からの意見というものを委員それぞれからいただきたいということではないのでしょうか。

○田口馨委員 資料に目標値と実績値が掲載されており、移住者目標4名に対し76名とありますが、この76名が大仙市のどの地域に移住したのか、移住者の年齢層、職業などがどうなっているのかということはあるのでしょうか。

○事務局（地域活性化推進室） 依頼先でありますまちづくり課にはデータ化されていると思います。

○田口馨委員 この移住者の中身が大事だと思います。どのような人達が、どのような気持ちで移住してきたのか、そして実際に移住が定住につながっているか。

○高橋朝夫委員 我々というのは、ここで生まれて、ここで長年住み続けている者です。本当にこのプランを進めていきたいと考えているのであれば、もっと若い人や実際移住してきた方に聞いたほうが良いのではないのでしょうか。外の目から見て、ここにはこのような魅力があるというようなことを教えてもらったほうが良いのではないかと思います。

○会長 以前我々が出した意見もついていますので、これも参考にしながら、あまり難し

く考えず率直な意見を出していただければ良いと思いますのでよろしくお願いします。
それではこれで「(2) 第2期大仙市移住・定住促進アクションプランに係る意見等について」を終わります。

次に「(3) その他」に移ります。事務局より説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室）

資料にもとづき、「第1回大仙市ひとつくり・ものづくり応援事業審査会」の概要を説明。

○会長 ありがとうございます。みなさんからご質問などございませんか。

○田口馨委員 このよしかタンポポというのは、よしか、は峰吉川のことだと思いますが、そこに昔から自生しているものを使うということでしょうか。

○事務局（地域活性化推進室） 私は峰吉川の出身ですが、確かに昔からタンポポはありました。そして広く分布している西洋タンポポではなく日本タンポポが自生しているので、それを活用して地域づくりを行うということです。

○小松京子委員 この活動はだいぶ前から聞いておりました。今回この事業を利用して大きく展開していくということだと思います。

○会長 大きな予算ですので、もしこのような団体が中仙にあれば利用していただきたいと思います。ほかにごございませんか。

(なし)

では以上で次第6「その他」を終わります。以上で、本日本日予定された協議等は全て終了となります。本日は長時間にわたりご協議いただきまして、誠にありがとうございました。これをもちまして令和元年度第1回中仙地域協議会を終了いたします。お疲れ様でした。

(午後3時50分 閉会)

中仙地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員
